

史料保存利用問題シンポジウム

被災史料・震災資料の 保存利用と公文書管理

日時：2016(平成28)年6月25日(土) 13:30~17:30

会場：駒澤大学 駒沢キャンパス 1号館 1-204 教場

開会挨拶：高埜利彦（学習院大学教授 日本学術会議会員）

報 告

青木 睦（国文学研究資料館准教授 日本学術会議連携会員）

「被災した組織アーカイブズの消滅と救助・復旧に関する検証
—東日本大震災の基礎自治体と常総市の事例—」

川内 淳史（歴史資料ネットワーク事務局長）

「阪神・淡路大震災被災地における震災資料の現状と課題
—民間資料と行政文書について—」

井上 正也（成蹊大学法学部准教授）

「公文書管理と個人情報保護」

閉会挨拶：木村茂光（日本歴史学協会会長 帝京大学教授 日本学術会議連携会員）

主催：日本歴史学協会・日本学術会議史学委員会

日本学術会議史学委員会歴史資料の保存・管理と公開に関する分科会

後援：全国歴史資料保存利用機関連絡協議会・日本アーカイブズ学会